はじめにお読みください

Express5800/R120d-1M

Startup Guide
スタートアップガイド

* 8 5 5 - 9 1 0 9 9 5 - 0 0 1 - 0 0 *

2012 年 4 月 初版

箱を開けてから本製品が使えるようになるまでの手順を説明します。
このスタートアップガイドに従って作業してください。

⚠ 安全に関するご注意

セットアップする前に「使用上のご注意」または「ユーザーズガイド」の以下の項をお読みの上、注意事項を守って正しくセットアップしてください。
「安全にかかわる表示について」
「使用上のご注意　～必ずお読みください～」

⚠ 警　告

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- 内蔵型オプションの取り付け・取り外しは電源コードをコンセントから抜いて行ってください。
- 雷が鳴り出したらケーブル類を含め本体に触らないでください。落雷による感電のおそれがあります。
- 「ユーザーズガイド」に記載されている内容を除き、分解・修理・改造を行わないでください。

⚠ 注　意

- 持ち運びの際は2人以上で本体の底面をしっかりと持って運んでください。
- 水、湿気、ほこり、油、煙の多い場所、また直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- 装置に添付されている電源コード以外を使用しないでください。
- 電源コードは指定された電圧でアース付のコンセントに接続してください。
- 電源コードはたこ足配線にしないでください。

ユーザーズガイドについて

ユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER」DVDの中に格納されています。ユーザーズガイドはAdobe® Reader™で閲覧できるPDFファイルで、以下の手順で表示・印刷することができます。

① Adobe Readerがインストールされているコンピュータの電源をONにする。

② 添付の「EXPRESSBUILDER」DVDをコンピュータの光ディスクドライブにセットする。
オートラン機能により自動的にメニューが起動します。
セットしたタイミングによっては、自動的に起動しない場合があります。そのような場合は、エクスプローラから「マイコンピュータ」を選択し、セットした光ディスクドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

③ 「オートランメニュー」の「ドキュメントを読む」をクリックする。

ヒント　DVD媒体読み込み機能のないコンピュータで閲覧したい場合は、ユーザーズガイドの3章「DVD媒体読み込み機能のない管理PCを使用したいとき」を参照してください。

ユーザーズガイドでは、本製品を安全に取り扱うための注意事項やStartup Guideでは記載されていないセットアップに関する詳細な説明、運用やアップグレードに関する説明が記載されています。また、「故障かな？」と思ったときのトラブル回避の手だてやサービスに関する情報も記載されています。本製品を取り扱う前にぜひお読みください。

ヒント　PDFファイルを閲覧するためには、Adobe Readerの日本語版が必要です。Adobe Readerはアドビ社のWebサイトから無償でダウンロードすることができます（http://www.adobe.com/jp/products/acrobat/readstep2.html）。
またユーザーズガイドは、NECのWebサイトからダウンロードすることもできます（[PCサーバ　サポート情報] http://support.express.nec.co.jp/pcserver/をクリックしてください）。

Step 1 添付品を確認する

- 本体×1
- スタートアップガイド×1
- 保証書×1
（本体梱包箱に貼り付けられています）
- フロントベゼル×1
- スライドレール（インナーレール）×2
- EXPRESSBUILDERパッケージ×1*
- 使用上のご注意×1
- セキュリティキー×2
（フロントベゼルに貼り付けられています）
- スライドレール（アウターレール）×2
- SAS/SATAケーブル（RAIDコントローラ未実装時）

重要
- 添付の「EXPRESSBUILDER」DVDは、セットアップ（または再セットアップ）の時に必要となりますので大切に保管しておいてください。
- 上記添付品は、本体のみのものです。スタートアップパックやBTO（工場組み込み出荷）製品などは「組み込み製品・添付品リスト」をご確認ください。

* EXPRESSBUILDERパッケージの内容についてはEXPRESSBUILDER内の添付品一覧を参照してください。ユーザーズガイドはEXPRESSBUILDERパッケージに格納されています。ユーザーズガイドを参照するには、本書の「ユーザーズガイドについて」を参照してください。

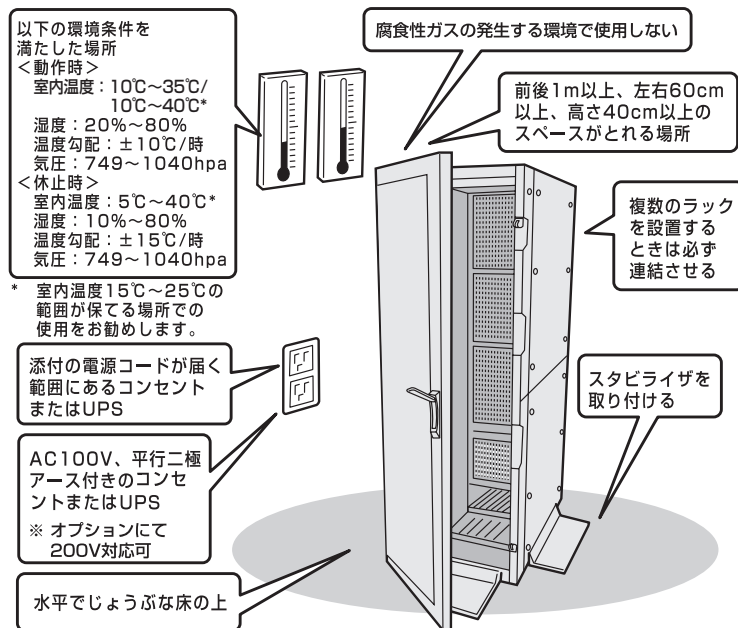
Step 2 内蔵オプションを取り付ける

本体内蔵用のオプションを取り付けます（オプションを購入していない場合や「BTO（工場組み込み出荷）」で本製品を購入されたお客様はステップ3へ進んでください）。

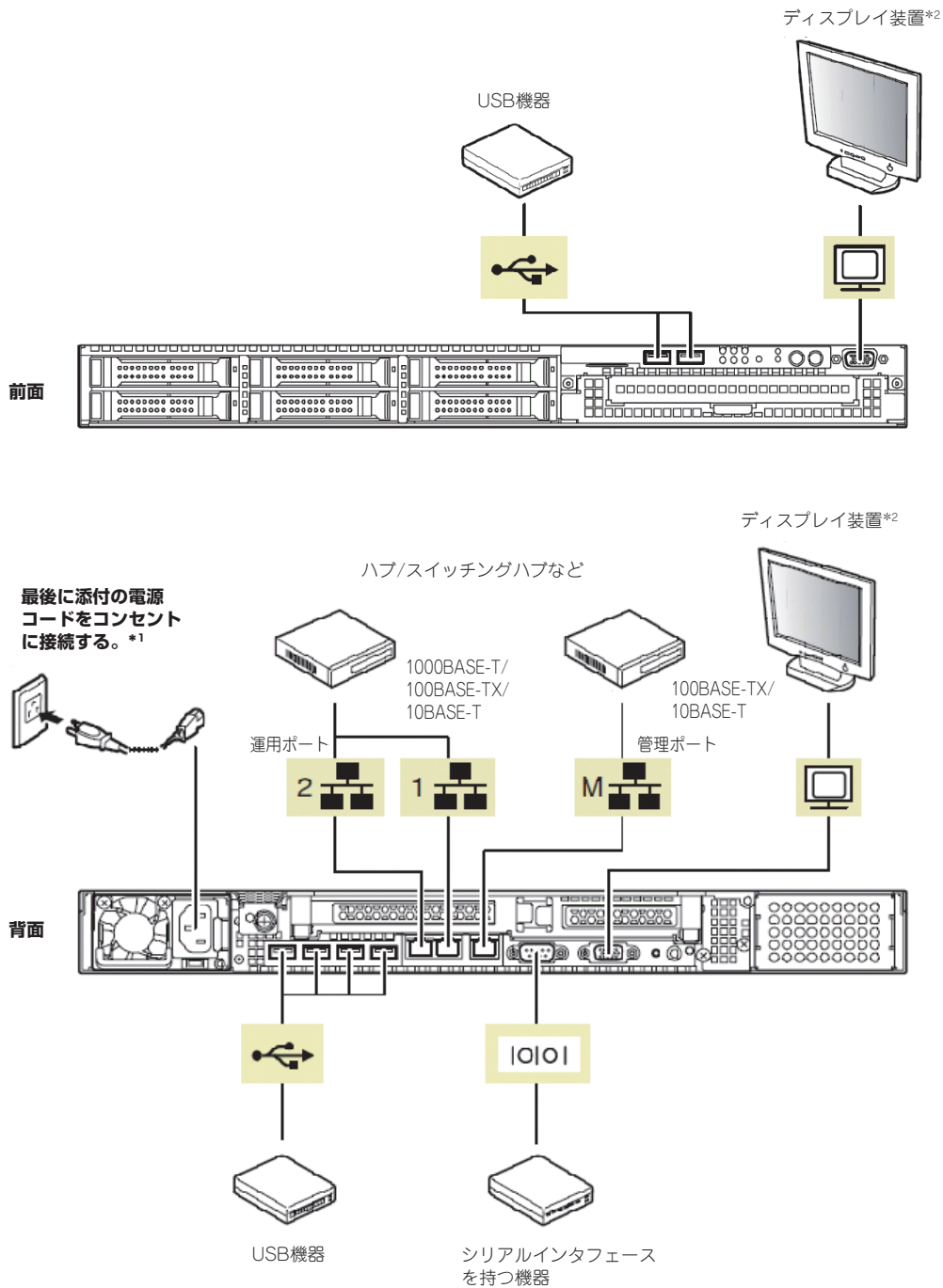
参照　「ユーザーズガイド」の「内蔵オプションの取り付け/取り外し」、およびオプションに添付の説明書を参照してください。

Step 3 ラックを設置して本製品を取り付ける

本体はEIA規格に適合した19型（インチ）ラックに設置して使用します。ラックへの設置について、次の条件を守ってください。

参照　「ユーザーズガイド」の「設置と接続」を参照してください。動作時の環境条件はモデルにより異なります。「ユーザーズガイド」の「仕様」を参照してください。

Step 4 ケーブルを接続する

ケーブルを本体に接続します。

参照　「ユーザーズガイド」の「設置と接続」を参照してください。

*1　電源コードは、15A以下のサーキットブレーカに接続すること。
*2　前面と背面で排他。

裏面につづく

Step 5 電源をONにする／OSをセットアップする

前面のPOWERスイッチを押して電源をONにします。*
BTOでOSがプリインストールされているときは、電源ONの後、OSが起動します。
Windowsの場合、自動的にセットアップが始まります。
* 電源コードを接続したあとは、POWERスイッチ/ランプのアンバーが消灯するまでは電源をONしないでください。

重要 電源ON後、ディスプレイにエラーメッセージが表示されたり、ビープ音が何度も鳴ったりしたときは、メッセージの内容やビープ音の鳴り方をメモして保守サービス会社に連絡してください。

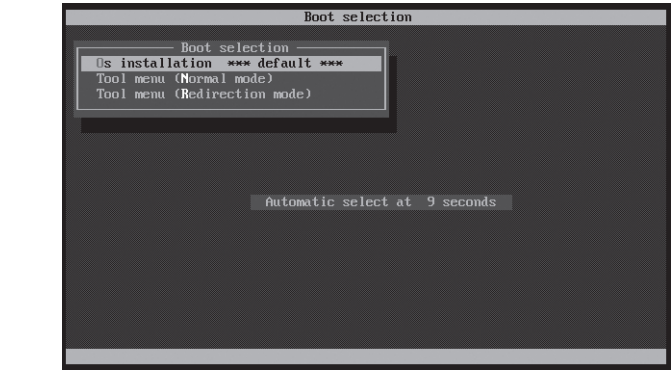
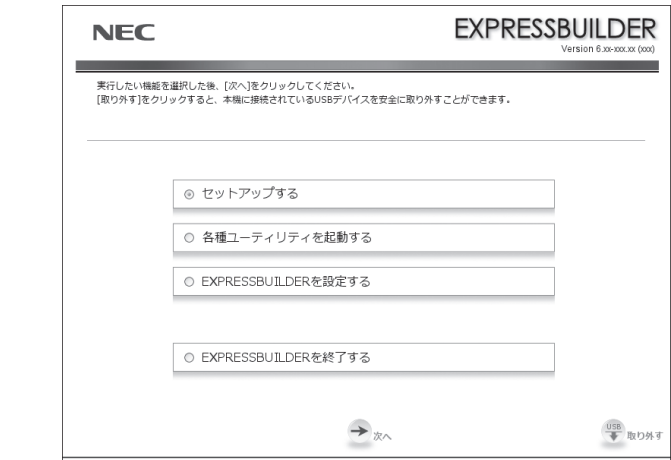
① ディスプレイの電源をONにした後、前面のPOWERスイッチを押します。
ディスプレイに「NEC」ロゴが表示されます。

② 本機の構成やシステムの用途に応じて、BIOSをセットアップします。
オプションのUPS(無停電電源装置)を接続している場合や管理ソフトウェアとの連携をとる場合にシステムBIOSの設定を変更します(通常は出荷時の状態で問題ありません)。
設定を変更するために、起動後、すぐに<F2>キーを押してください。BIOSセットアップユーティリティ(SETUP)が起動します。

「ユーザーズガイド」の「システムBIOSのセットアップ(SETUPの説明)」を参照してください。

③ OSがプリインストールされているときは、OSが起動します。Windowsの場合は、自動的にセットアップが始まります。手順⑦に進んでください。

④ OSがインストールされていないとき、または再インストールのときは、EXPRESSBUILDERを使ってインストールします。
EXPRESSBUILDERを本機にセットし、再起動(<Ctrl>,<Alt>, <Delete>キーを同時に押します)させてください。EXPRESSBUILDERが起動し、ブートメニューが表示されます。

「EXPRESSBUILDER組込みキット」をBTOで購入されると、POSTからEXPRESSBUILDERを起動することができます。「NEC」ロゴが表示されているとき、<F3>キーを押してください。

⑤ ブートメニューから「Os installation」を選択します。
しばらくすると、トップメニューが表示されます。

⑥ トップメニューの「セットアップする」を選択します。

⑦ 以降、インストレーションガイドに従って、OSのセットアップを進めます。
Windowsをセットアップするときは、「インストレーションガイド(Windows編)」を参照してください。
Linuxをセットアップするときは、「インストレーションガイド(Linux編)」を参照してください。

インストレーションガイドは、ユーザーズガイドと同様にEXPRESSBUILDERに格納されています。

Windows サービスパックについて

本機へサービスパックを適用するときは、「インストレーションガイド(Windows編)」に記載の「サービスパックの対応」を参照してください。

Step 6 バンドルソフトウェアのインストール

本機には、次のようなソフトウェアがバンドルされています。
必要に応じて、これらのソフトウェアをインストールしてください。

「管理PC」は、一般的なクライアントコンピュータを使って構築することができます。(本機で代替することも可能です)

名　称	インストール先	概　要	対応 OS	
			Windows	Linux
ESMPRO/ServerAgent	本機	本機の状態を監視することができます	○	○
ESMPRO/ServerAgent Extension	本機	本機をリモート管理できます	○	○
エクスプレス通報サービス	本機	本機が故障したときの情報を保守センターへ通報することができます	○	○
ExpressUpdate Agent	本機	本機のファームウェア、ソフトウェアなどのバージョン管理と更新ができます	○	○
Universal RAID Utility(URU)	本機	RAID コントローラの管理、監視ができます	○	○
装置情報収集ユーティリティ	本機	保守用の各種情報を採取することができます	○	—
BMC Configuration	本機	BMC を設定することができます	○	○
情報提供ツール (NEC からのお知らせ)	本機	本製品をご利用いただく上で役に立つ情報を提供します	○	—
情報採取ツール actlog	本機	システムに異常が発生した際の原因切り分けを支援します	—	○
情報採取ツール kdump-reporter	本機	Linux カーネルクラッシュダンプの一次解析レポートを自動生成します	—	○
ESMPRO/ServerManager	管理 PC	ESMPRO/ServerAgent などと連携し、本機を管理することができます	○	○

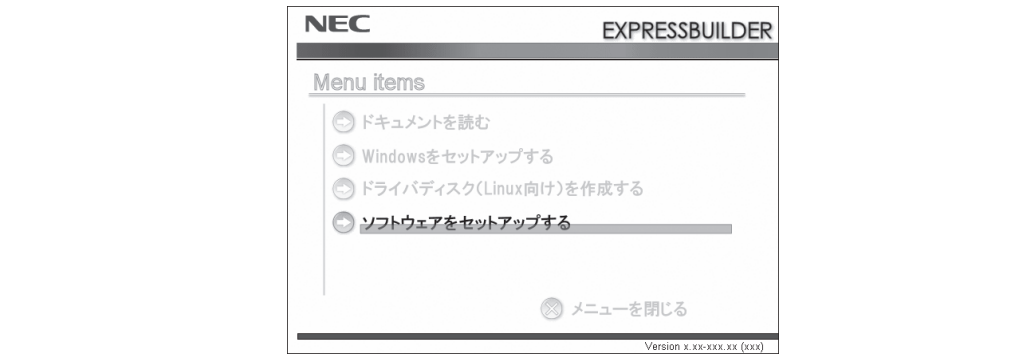
Windows版のバンドルソフトウェアは、オートランメニューを使ってインストールできます。

Linux版のバンドルソフトウェアは、「インストレーションガイド(Linux編)」を参照してください。

次の手順に従ってください。

① インストール先が「本機」となっているものをインストールするときは、本機にインストールされたWindowsを起動します。「管理PC」のときは、任意のPCにインストールされたWindowsを起動します。

② Administrator権限のあるユーザーアカウントでログインします。

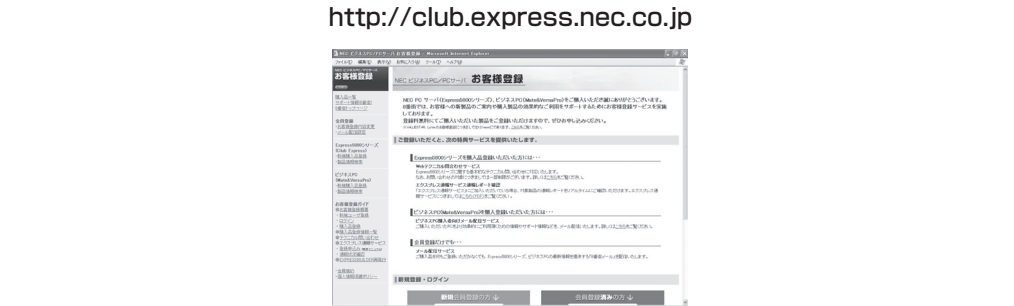
③ EXPRESSBUILDERをセットします。
オートラン機能が働き、次のようなメニューが起動します。

④ メニューの「ソフトウェアをセットアップする」をクリックします。

⑤ インストールしたいバンドルソフトウェアを選択し、クリックします。

⑥ 各バンドルソフトウェアのインストーラなどが起動しますので、「インストレーションガイド(Windows編)」などに従ってインストールを進めてください。

Step 7 お客様登録をする

弊社では、製品ご購入のお客様に「お客様登録」をお勧めしております。次のWeb サイトからご購入品の登録をしていただくと、お問い合わせサービスなどを受けることができます。

http://club.express.nec.co.jp

以上で、Express5800シリーズのセットアップは完了です。

トラブルが起きたときは

「メンテナンスガイド」には、トラブルシューティング、障害情報の採取方法、保守サービス会社の一覧などが記載されています。こちらを参照してトラブルを解決してください。「メンテナンスガイド」は、「ユーザーズガイド」とともにEXPRESSBUILDERへ格納されています。

Express5800シリーズに関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。
(電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。)

ファーストコンタクトセンター　TEL. 03-3455-5800(代表)
受付時間 ／ 9:00～12:00、13:00～17:00　月曜日～金曜日(祝祭日を除く)